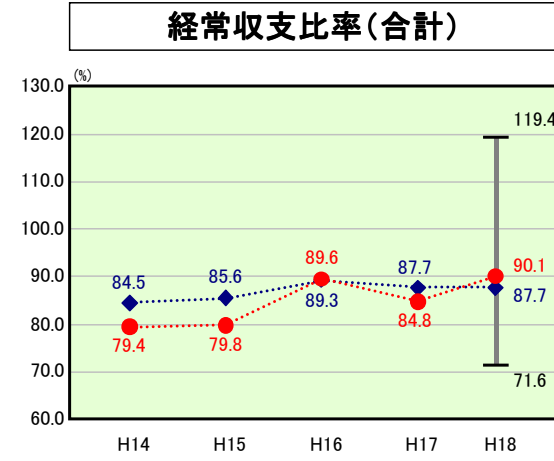


歳出比較分析表(平成18年度普通会計決算)

福島県 湯川村

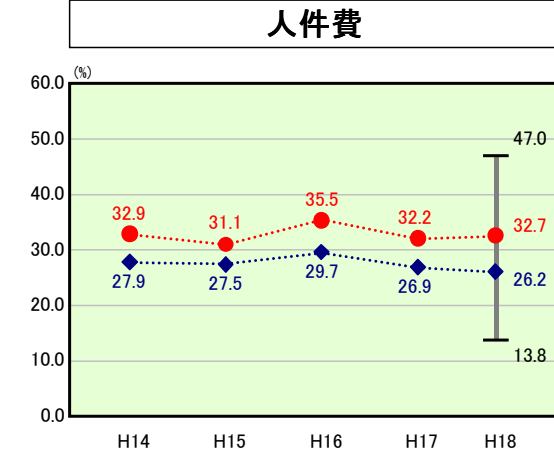
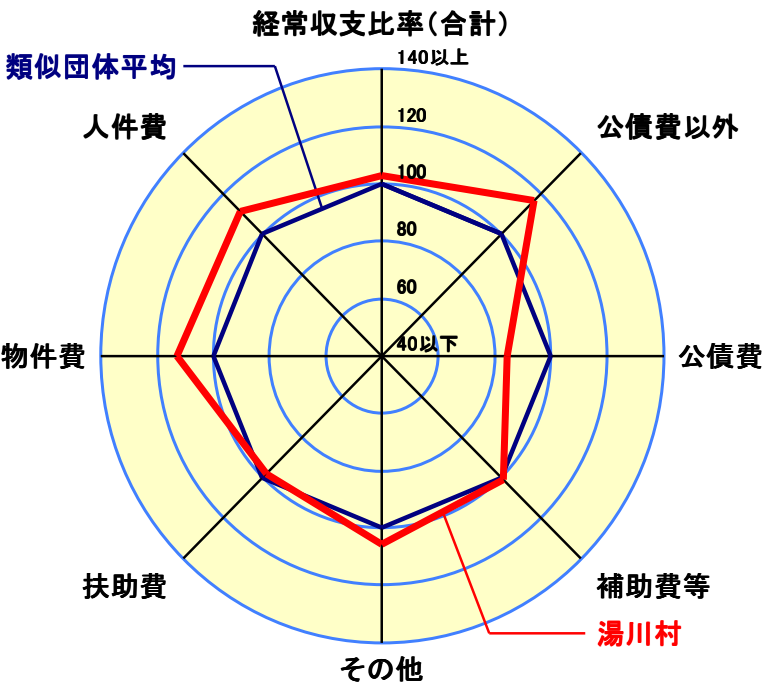
経常収支比率の分析



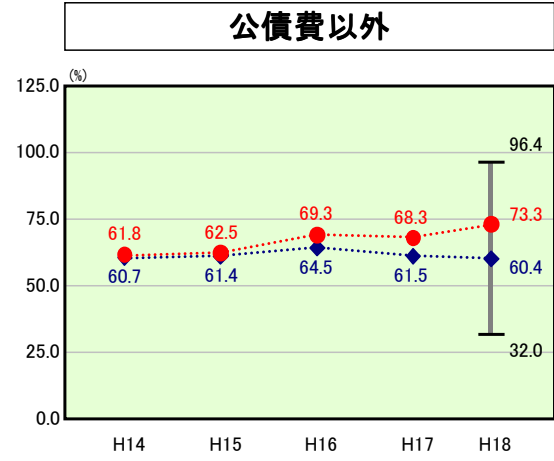
当該団体値 ●
類似団体内平均値 ◆
類似団体内最大値 ▮
類似団体内最小値 ▾

人口	3,695人(H19.3.31現在)
面積	16.36 km ²
歳入総額	1,768,557千円
歳出総額	1,691,682千円
実質収支	76,875千円

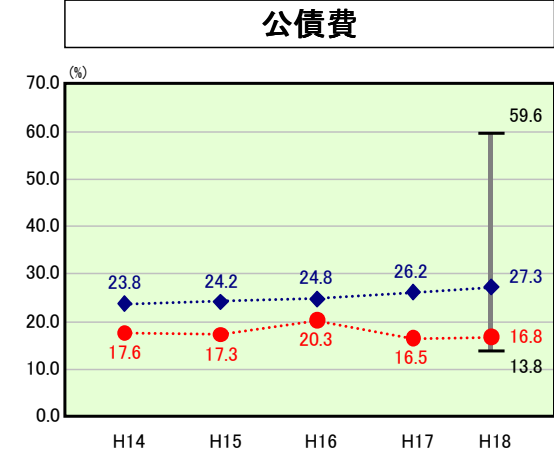
H18類似団体内順位 75/129
全国市町村平均 90.3
福島県市町村平均 87.9



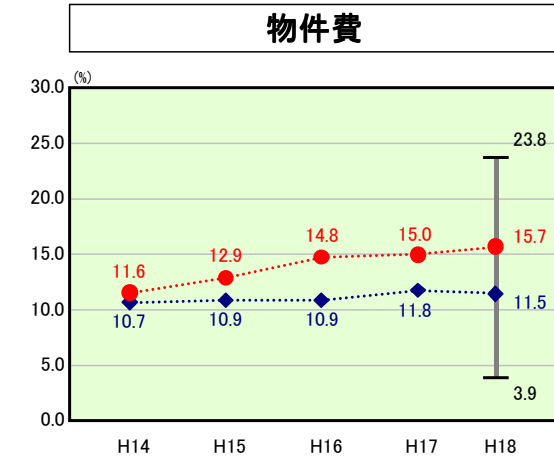
H18類似団体内順位 111/129
全国市町村平均 28.2
福島県市町村平均 27.2



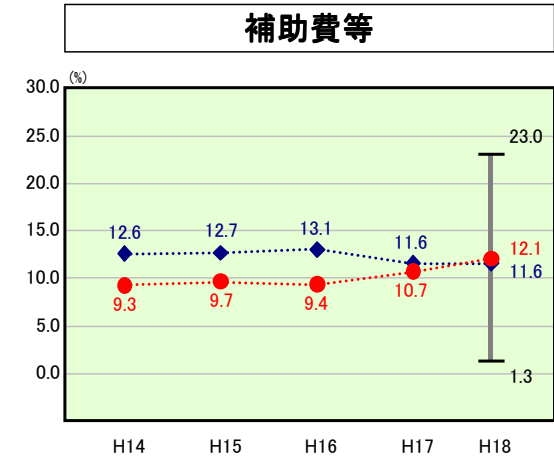
H18類似団体内順位 125/129
全国市町村平均 70.5
福島県市町村平均 68.5



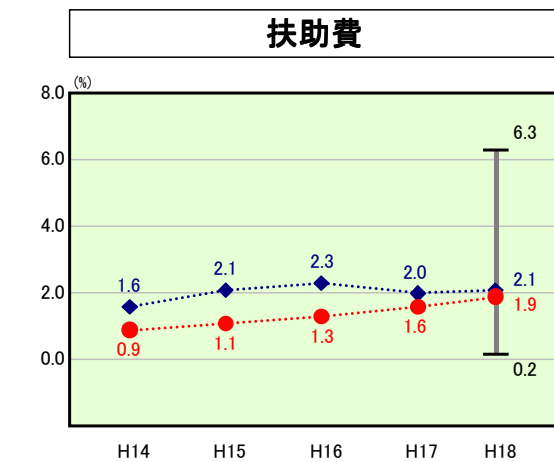
H18類似団体内順位 5/129
全国市町村平均 19.8
福島県市町村平均 19.4



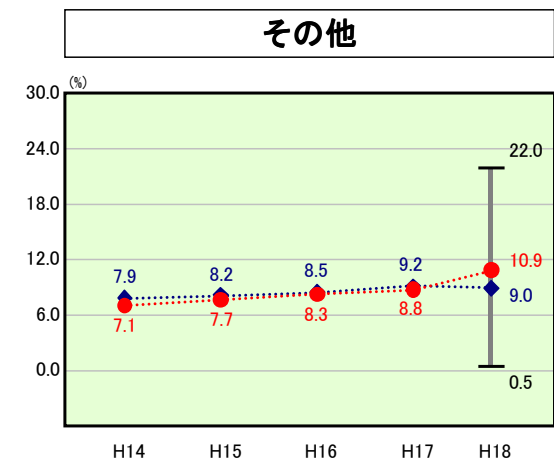
H18類似団体内順位 115/129
全国市町村平均 12.9
福島県市町村平均 13.0



H18類似団体内順位 74/129
全国市町村平均 10.2
福島県市町村平均 9.8



H18類似団体内順位 73/129
全国市町村平均 8.6
福島県市町村平均 6.3



H18類似団体内順位 96/129
全国市町村平均 10.6
福島県市町村平均 12.2

- ※1 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- ※2 当該団体の八角形が平均値の八角形より内側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- ※3 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

経常収支比率・・・平成18年度決算では経常収支比率が90.1%と前年度より5.3ポイント悪化した。これは前年度と比較し地方交付税の大幅な減(▲7.2%)により一般財源が減少したため、歳出削減を行っていても追いつかなかったことによる。今後も退職者不補充(19年度1名、21年度1名退職)や、物件費の抑制などの一層の歳出削減を実施するが、好転は見られず現状維持に努める。

人件費・・・類似団体と比較して人口1人当たりの決算額が全体を通して下回っている。これは従来支給していた各種特殊勤務手当の廃止や、定員適正化管理計画による人員管理(66名→56名)などを行っているためである。今後も退職者不補充(19年度1名、21年度1名)により、減少していくものと思われる。

公債費・・・類似団体を下回っているのは、過去において事業を実施するに当たり有利な過疎債を活用し過剰な投資をしてこなかったことによる。しかし、20年度に統合幼稚園建設・村道踏切部分拡幅工事と大型事業が予定されており、それに対する起債が約250百万円を予定している。債務負担行為については22年度において完了するため今後新たな債務負担行為を設定する予定は今のところない。将来にわたり負担しなければならないものなので起債・債務負担行為については慎重に行っていく。

普通建設事業費・・・普通建設事業費の人口1人当たりの決算額は類似団体を大幅に下回っている。これは、大型建設事業が近年なく推移してきたことによる。今後は、教育関連施設や老朽化した庁舎等の建設について十分論議し財政状況を見極めて実施していく。